

いっぱんしつもん

まちづくり寄附条例の導入

公明党 福井貴代



問 ふるさと納税制度を活用した「ちちぶ夢創り倶楽部」お品書きに、心かよう福祉のまちづくり事業を加える考えは。また、寄附を通じて政策を選択することにより、住民参加型の自治を目指す「まちづくり寄附条例」の導入は。

答 お品書きのメニューに新たな項目として福祉施策を追加するよう検討する。また、仮称「ちちぶ夢創り基金」の創設を考えているが、「まちづくり寄附条例」があれば、市民参加型の政策実現が進むと思われる。ふるさと納税制度との関連性を含め検討していく。

● 携帯電話のリサイクル

問 携帯電話のリサイクルについて、現況と取り組みは。

答 携帯電話は指定再利用促進製品に指定され、金・銀など20種類ものレアメタルが使用されているが回収率は下がっている。また、1か月で約300台が不燃ゴミとして回収されている。住民の再利用・再資源化の意識が低く、今後広域市町村圏組合と連携して、広く周知を行っていききたい。

● 多重債務相談について

問 多重債務相談の取り組みは。

答 平成19年度の相談件数は55件。市の消費生活相談室では、経験豊富な消費生活コンサルタントが、解決方法の助言や民事法律扶助制度の紹介、弁護士会、法テラス、司法書士会等を紹介している。今後も、苦しんでいる市民の方に、安心安全に相談できる窓口があることを市報やホームページ等で、わかりやすくPRしていく。

教育行政について

市民クラブ 荒船功

問 通学区外からの受け入れ条件は。

答 受け入れ条件は、学期途中や小・中学校の最高学年での転居、住宅の新築完成前の住民票移動、小学生の留守家族、身体的理由や特別な事情により住民票の移動ができない場合、その他、例えばいじめによる等の理由がある場合は就学指定校変更申請して、その理由を妥当と認めた場合。

問 学童保育室・ふれあい学校の現状は。

答 公立学童保育室12か所の合計は定員540人、在室児童数451人、待機児童数22人、待機児童については、学年、世帯、近所に住む祖父母等の状況を勘案、待機をお願いしている。待機児童が多い吉田学童は、小学校と調整し場所の確保と指導員を増員して、待機児童の減少に取り組んでいる。

私立原谷学童クラブは、64人の児童が在室している。公立学童保育室との保育料格差は、19年度から保育料の公私格差相当分を保護者に助成している。

原谷学童クラブの運営については原谷小学校区域の児童の安全、

安心、健全化を第一に考え、公立化等を含め十分協議、調整を行う。

ふれあい学校12か所の合計は、定員379人在室児童数は351人、待機児童63人で、ふれあい学校は、保護者の勤務等入室条件はないので、申請順になっている。待機児童の多い影森小学校は、学校と協議し、待機児童解消に努めていく。



影森の学童保育室

いっぱんしつもん

浦山ダムの濁り、浦山川の濁り、浦山川流域の総合調査並びに獣害の防止策と水質源対策

自由民政クラブ 今井武蔵

問 右記表題の現状、取組の状況と、細久保芋畑濁水と給水車出動。

答 浦山ダムの濁りは、浦山渓谷全域の山相の状況等で原因不明。浦山地域調査を平成17年度に東向芋畑等5か所と稜線のブナ林の現状、鹿被害等調査。今後も農林振興センターと協議取組検討。浦山川5月19日の濁度6・6、凝集剤注入。細久保等濁水対策は給水2t車10回出動。

市の行政改革の現状とその成果

問 行政改革大綱の取組と成果は。合併の17年4月以降、行革大綱を集中的に取組む。行革指針集中プランにより、組織、定員、適化等検討し「チャレンジ80プラン」市組織で実践経費節減の成果。マニフェストは8月に発表予定。

市の一般競争入札改革の現状

問 19年度からの入札改革の成果は。答 透明性客観性により取組。市内の土木、建築業者で約100%の発注済。

市民の声 後期高齢者医療制度

問 本制度施行に市民の不満は多い。制度の改善と現状はどうか。

答 市該当者は、9,103人人口比12・7%。その内、25%が要介護保険者。市の窓口は保険証発行、保険料収納、市民の問合わせ多く対処。市長は、県市長会經由で、「現状では良くないと判断し」一国に出す。



和銅奉獻1300年記念事業 黒谷の獅子舞

- ◎ 芝桜の総括と対策
◎ 彩の国みどりの基金の活用
◎ 民生委員の現状
◎ 和銅奉獻千三百年事業

旧大宮学校校舎の復元は

新社会党秩父市議団 坂本文雄

問 この校舎は現在の妙見の森公園に建てる計画であったが、「老朽化が激しく多額な経費を要す」との理由で復元が中止になっているが、文化財でもあり由緒ある建物なので復元の考えはあるのか。

答 解体時に復元設計図も作成しており、生徒が学ぶ学校建設終了後、場所も含めて新しい建材にて復元を考える。

旧秩父セメント第一プラント解体は

問 秩父市・セメント・商工会議所の話し合いの内容は。解体前に石綿や埃等の問題があり地元への説明会を行う事になっていたが。

答 三者の話し合いは面積の確認等で具体的な議論はされていない。地元説明会は町会役員から回覧で良いとの事で扱った。

秩父・森の学校の運営は

問 市長の公約として提起されている「森の学校」は子どもたちの環境体験場所として必要であり、インストラクターを含めた対応は。答 荒川の里山・吉田元気村とも連携を取り今年度中に冒険の森と

吉田保育所の解体の中止を

問 現地の診断を行ったが、建物も改修され、設備も旧市内保育所より良い。先生方も使い勝手も良いとの話である。入所児童が増えて年長児の部屋が無く増設の必要があるが考えは。

答 耐震診断を実施し対応を考える。市内他の保育所改修も考える。



吉田保育所

いっぱんしつもん

後期高齢者について

市民クラブ 高野 勝 盟

問 (1) 年齢別の内容について。
(2) その対応について。

答 (1) 75歳以上、9、103人。
要介護認定は2、347人。
65〜74歳、9、153人。
要介護認定者は、317人である。

(2) ①高齢者支援ハウス ②養護老人ホーム ③在宅訪問介護事業 ④特別養護老人ホーム ⑤介護老人保健施設 ⑥介護療養型医療施設 ⑦介護付有料老人ホーム

- ① 2施設 30床 19人入居
- ② 1施設 50床 49人入居
- ③ 23施設 18床 1,600人
- ④ 10施設 718床
- ⑤ 4施設 381床 654人
- ⑥ 3施設 81床利用
- ⑦ 3施設 78床 23人利用

●教育について

問 英語と国語教育の充実について。

答 国の方針は数年後からの指導の通達がありました。秩父市では本年度から国語力、英語力の向上に努める。

問 部活動について。

答 平成24年度から武道が必修となるため、柔・剣道の重層式体育館が完成し、屋外にある弓道場を利用して、県、全国大会で活躍中の弓道部の発展こそ急務である。

●観光資源について

問 夜祭りについて。

答 団子坂の曳き上げの他、笠鉦、屋台の見学、花火等全体の充実を図っていく。

問 広報の力点。

答 災害に強い住みよい街である事を対外的に観光の街秩父をPRするのに効果的手段である。



ほのぼのマイタウン

栗原市長に政治倫理を問う

自由民政クラブ 久喜 邦 康

問 4月3日に市長の関連企業が申告漏れとの新聞報道に対し、市長は再三「知らなかった」とくり返した。このことで多くの市民が市長へ疑問を抱くことになった。

現状を市長はどのように考えるか。報道について市報に掲載がない。市民に対し詳細を説明する責任があるのではないか。報道後、昭和工業へ事実を調査したか。市長は昭和工業の株を68%所有した筆頭株主である。この事件で損益を被ったと思う。会社へ異議申し立てをしたか。新聞に示されたように昭和工業からコンサルタント会社への資金の支出はあったか。市民は市長の政治姿勢へ疑問を抱いている。市民への政治的責任は。

答 一連の報道には遺憾だ。これまでと変わらず清廉潔白だ。報道後に昭和工業へたずねたところ、修正申告に応じたとのこと。なんら恥じることはない。政治的道義的責任もない。

●信頼される医療

問 現行のドクターヘリによる患者搬送は運航時間が制約され、搬送先も固定されている。だから、

ドクターヘリと合わせて夜間でもどこへでも搬送できる防災ヘリによる搬送が望まれる。防災ヘリでの患者搬送をどのように考えるか。

答 医師の同乗やヘリポートの夜間照明など課題もある。今後も県へ要望を重ねていく。



防災ヘリコプター

- ◎市職員の専門職養成にむけて
- ◎パブリックコメントの実施にむけて
- ◎特定健診の受診率向上にむけて
- ◎FM秩父の開局について

いっぱんしつもん

にぎわいあるまちづくりに向けて

新社会党秩父市議団 金崎昌之

●路線バスの観光活用

問 西武秩父駅を起点として、尾田時・太田經由吉田元気村行きや和銅遺跡方面など充実してきたバス路線は、これを観光客の誘致へと活用することにより、地域の活性化にいつそう貢献できると考えるが。

答 路線バス情報を観光案内パンフレットや市のホームページに掲載するなど、路線バスを利用し、秩父を周遊していただけるような方策を検討していく。



吉田行きのバス

●「移住のすすめ」の積極的展開

問 団塊世代の大量退職期を迎え、

全国各地で「わがまちへ」と移住のすすめが取り組まれている。秩父では、「ちかいか秩父」をかかげた民間組織がこれに積極的に取り組み、成果をあげている。

市としても、人口減・過疎対策の一つとして、空き家の活用なども視野に入れ、より積極的に「移住のすすめ」を情報発信する必要があると考えるが。

答 いろいろな交流居住施策を展開し、努力している。「ちかいか秩父」等との連携を今後も密にしていく。

●「地域子ども補修学習」について

問 様々な理由により、子どもたちの間に「学力格差」が拡大し、これがまた、不登校・いじめの遠因になっていると考える。教職員OBなど地域の協力を得て、土・日や夏休みなどを使い「地域子ども補修学習」を推進する考えは。

答 すばらしい提言だが、実施するには協力していただく人材の確保など多くの課題があるのが現状。

栗原市長関連企業1億円所得隠しについて

自由民政クラブ 高野安之

問 私は昨年の2月頃、国税局が昭和工業(株)へ税務調査に入ったと言う噂話を聞く。当時は県議会選挙の時、時期が時期だけに、いろいろなデマを飛ばすモンだと馬耳東風の姿勢でいた。

今回の新聞、テレビニュース等で国税当局は1億円の申告漏れを指摘、悪質な所得隠しとし重加算税を含め約5000万円を追徴課税した模様だ、との問題を知り、「噂は本当だったか」と思いを新たにしました。

久喜議員の質問に対して、ハッキリと否定し「道義的責任も何も無い。国税当局と見解の相違があった。」と答弁していたが、見解の相違がありながら追徴課税を支払った事実がある。また、その事実が報道された事に対し、秘書と共に配信した時事通信社を訪れ、遺憾の意を表明してきたと答弁しているが、市長として大変不名誉な報道であるにも拘らず、なぜ、名誉毀損として訴えないのか。

答 高野議員の質問には答弁しない。(質問の中で、市長家族の行動に言及する発言があり、動議によって削除される発言の内容も不

明確なため答弁できない。)



◎条例改正議案をわかりやすく
◎「芝桜の丘」75歳以上無料化について

◎住民訴訟の経過を市報で報告について